

シンポジウムの種

第4号 7月5日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2022年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TEL 022-277-6166



ポスター・チラシは県内の大学や博物館の22か所に郵送されます。

ポスターが完成しました！

2022年度シンポジウムのポスターは、広報部ポスター班が中心となって作成しました。このポスタービジュアルはチラシ一面にも採用されます。作成者の一人、佐藤さんからポスター作成の過程や思いについてメッセージをいただきました。

～作成者のメッセージ～

広報部ポスター班 生活文化デザイン学科 佐藤成恵

《今年度シンポジウムのポスターは、宮城学院女子大学の中庭にある、藤棚の写真を使い、色味を紫や緑にして全体的に爽やかな印象に仕上げました。フジの花の花言葉の1つに「歓迎」という言葉があります。本年度シンポジウムは2年ぶりに一般参加が可能となったことを受け、本学学生、関係者、一般の方全てを歓迎したいという意を込めてこのデザインにいたしました。》

シンポジウムまであと **18** 日

2022年度シンポジウムタイトル

多様性と

～全ての人に開かれた博物館を目指して～

博物館

日時：7月23日(土) 13:00～16:00

会場：大学講堂

主催：宮城学院女子大学学芸員課程

パネラー：

渡部直子氏 (仙台文学館)

佐藤祐輔氏 (仙台市縄文の森広場)

渡邊直登氏 (仙台市歴史民俗資料館)

学芸員課程のホームページではシンポジウムに関する情報発信だけでなく、学芸員課程で開催している講演会や展覧会についてもお知らせしています。今週も講演会が開催されます。また、「シンポジウムの種」(カラー)も毎号掲載しています。この機会にぜひチェックしてみてください！

学芸員課程
2022年度 HP



【連載】博物館実習の様子2



「博物館実習」(b) クラス

博物館実習(b)内山組では、掛軸(かけじく)の各部の名称や取り扱い方、またその際に使用する道具の扱い方や注意すべきことなどについて学びました。

クラスの実習生は皆、掛軸を取り扱うのは初めてだったためとても緊張した様子でした。しかし、先生のアドバイスのもと一人ずつ落ち着いて掛軸を取り扱うことができました。

写真は実際に掛軸のかけ方に挑戦している様子です。

シンポジウムに向けて [運営部編]

大学講堂にて舞台会場設営の準備として、照明機器や音響機器の説明、プロジェクターの使い方の説明を受けました。



6月29日の話し合いでは学生発表の発表資料の修正やリハーサルの実施について話し合いました。博物館への取材結果から、ユニバーサルデザイン化やデジタル化のそれぞれの面で抱えている問題や取り組んでいることを再度確認しました。

2021.

11.30 第1回シンポジウム打ち合わせ会

12.10 執行部初回打ち合わせ

2022.

1.24 取材に行く館が確定。

2.20 各自実習館へ取材開始。

4.20 シンポジウムのテーマ決定。

5.7 シンポジウムの係決定。運営・広報・記録の3つへ配属。

6.1 『シンポジウムの種』準備号発行

6.14 『シンポジウムの種』第1号発行

6.17 広報部が考えたポスター案が決定。

6.21 『シンポジウムの種』第2号発行

6.27 運営部がシンポジウムに向け、会場の大学講堂でセッティング調整を行う。

6.28 『シンポジウムの種』第3号発行

7.3 メディア班がfm いずみにラジオ出演

7.5 『シンポジウムの種』第4号発行

シンポジウムに向けてのこれまでの取り組み

シンポジウムに向けての本格的な活動は今年1月頃からスタートしました。これまでの活動の流れを公開します!

編集後記

こんにちは。『シンポジウムの種』製作班です。今号は、1面に完成したポスターについての解説、2面に博物館実習(b)の様子と運営部によるシンポジウムの準備の様子をご紹介します。次号では、連載の第3弾と7日の講演会の様子、広報部の活動の様子を掲載する予定です。お楽しみに!(木村、砂子澤、松本、柳谷)